

会 議 録

- 会議名称 令和7年度第1回渋川市環境審議会
- 日 時 令和7年4月28日(月) 午後1時30分～午後2時30分
- 場 所 本庁舎 第4会議室
- 出席者 《審議会委員》
萩原会長、小黒副会長、神戸委員、中島委員、丸山委員、金井委員、坂田委員、狩野委員、武藤委員、野村委員、鳥山委員、横手委員、篠田委員、田部井委員、渡辺委員、成島委員
以上16人
《渋川市》
市民環境部長、環境森林課長、環境政策係長、環境政策係員
- 欠席者 《審議会委員》
中山委員、角田委員、星野委員、町田委員

概 要

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 議案第1号 (仮称) 渋川市地球温暖化対策実行計画2027-2030の策定方針(案)について

質疑1 議案第1号関係資料の1ページ「1 目的」にて「区域施策編を取り込む」とあるが、この表現の場合、すでにある区域施策編を併せるというイメージをもつがその理解でよいのか。

答弁1 本市ではこれまで区域施策編の策定を行っていなかったため、新たに事務事業編に区域施策編を併行させるという意味合いで「取り込む」という表現を用いた。新たに区域施策編を策定し、事務事業編とは、別の計画ではなくそろった状態で進行管理を行っていく予定である。

質疑2 計画の策定においてコンサルタント会社等への委託を検討しているのか、それとも市だけで実施するのか。

答弁2 令和7年度の市民意識調査は、市で実施する予定である。令和8年度は他自治体や県で策定されたグリーンイノベーション群馬戦略2035を参考とする中で専門的な部分などがあれば委託も視野に入れている。環境基本計画の見直しについては渋川市で行っていた。そのほか、社会情勢や他市町

村の事例などを参考に策定方法について検討していく。

質疑 3 新たに区域施策編を含めた計画を策定するにあたって渋川市環境基本計画において進行管理してきたことも内容として重複しているのではないか。そこで、計画面においてより細かな事業の内容について記載されることを期待している。

答弁 3 区域施策編については、渋川市環境基本計画におけるメソッドなどが組み込まれることもある。また、国が示す区域施策編のフォーマットを使うことによって、新たに国が策定した補助事業などへの対応が可能となると考えている。現行の事務事業編ではその部分が欠落しているので補足の意味を含めて区域施策編を併せた計画を策定していく予定である。

質疑 4 市域のごみの処理量を削減することによる温室効果ガスの排出の削減することについて渋川市環境基本計画に記載されていなかったのが今回の区域施策編では記載されることに期待している。それらも含めて事務局ではどのように考えているのか教えてほしい。

答弁 4 環境基本計画において指摘された資源の循環、有効活用する中でごみの再資源化をすすめ、渋川市環境基本計画とは別のアクションプランとして渋川市地球温暖化対策実行計画2027-2030を詳細に作成していく予定である。

4 その他

質疑 1 温暖化対策に直接関係して市民の勉強会については開催を予定しているのか。

答弁 1 渋川市では以前から市民環境大学を開催していたが、今後も別の形で環境に関する学習会を実施予定である。

5 閉会

— 以上 —